

## ICT教育による2020年代における学びの実現を目指して 首長が共同で「全国ICT教育首長協議会」設立発表会を開催

全国ICT教育首長協議会は、2016年8月3日（水）、秋葉原コンベンションホールにて「全国ICT教育首長協議会」設立発表会を開催いたしました。

当協議会は、21世紀の予測困難なグローバル社会、日々加速する情報化の流れのなかで活躍する人材を育むためには、これまでの教育に加えICTを活用した新しい教育方法が有効だと考えております。文部科学省においても、これからの社会に求められる資質・能力である様々な情報を主体的に活用し、問題を解決したり、新たな価値を創造したりする能力の育成においてICTを効果的に活用することを推進しています。また、特別支援教育での活用も有効であると考えています。しかし、我が国におけるICT教育に対する理解やICT教育環境整備はまだ十分とは言えない状況です。

そこで、昨年11月10日に「つくば市ICT教育全国首長サミット」を開催し、未来の子供たちのために行政と教育委員会が連携してICT教育などの教育水準の向上と魅力あるまちづくりを推進するための「ICT教育全国首長サミットつくば宣言」を採択し、この度「全国ICT教育首長協議会」を設立することになりました。本協議会は、文部科学省が主催する「2020年代に向けた教育の情報化に関する懇談会」（中間まとめ）においてもその意義が位置付けられております。

発表会では、つくば市長 市原健一及び他発起人代表メンバーからのご挨拶をいただき、その後来賓のご挨拶で、文部科学省様よりご登壇いただきました。続いて、2020年代に向けた教育の情報化の取組について文部科学省様にご講演をいただいた後、多久市長 横尾俊彦が、当協議会の趣旨説明をお話し下さいました。最後につくば市の春日学園義務教育学校で先進的ICT教育を受けた子供たちが、その学習成果として「電子黒板を使って、英語でのプレゼンテーション」を披露いたしました。

### ■発起人代表メンバーあいさつ つくば市長 市原健一 他発起人

発起人代表である市原健一つくば市長より、本協議会に関して94自治体の首長に賛同いただき、230名の方に参加いただき開催できたことに感謝し、文部科学省に後押しいただきながら、子供たちのために先進的ICT教育など日本の教育水準向上のための整備を目指していきましょうという話がありました。

また、福島県郡山市、東京都荒川区、長野県下伊那郡喬木村、滋賀県草津市、大阪府箕面市、奈良県葛城市、佐賀県多久市、熊本県球磨群山江村の首長または代理者からは、1人1台のタブレット整備や行政と教育委員会との連携、ICTの教育利用による学力向上、全普通教室への電子黒板の整備、地域活性化のための情報化推進、ICTを活用した深い学びの実践、先進的ICT教育モデル校についての発表がありました。



<お問合せ先>

「全国ICT教育首長協議会」事務局（一般財団法人日本視聴覚教育協会内）  
TEL：03-3431-2186/FAX：03-3431-2192

## ■ 来賓あいさつ 文部科学大臣政務官 堂故 茂 様

全国の学校・自治体のICT格差が大きくなっています。つくば市春日学園ではICTを活用し子供たちの能力を引き出し、子供の活動を保証し、教師の多忙感解消のために校務化が進んでいます。このままICT教育の格差を放置すると大変な社会問題になってしまいます。これまで以上に国としても教育の情報化加速化プランを進めていかなければなりません。そして、各自治体人がづくりに取り組んでいく中で、ICT環境整備など教育の情報化をさらに取り入れてほしいとの考えを話されました。



## ■ 2020年教育の情報化説明 文部科学省生涯学習政策局情報教育課長 磯 寿生 様

文科省においても新たな学びのツールとしてのICT活用を捉えており、ICTはこれまで特別な取組という受け止められ方もあったが、今やIOT, AI, 第四次産業革命などの言葉が聞かれるような時代となりました。それに伴い、教員の力を最大限に発揮するためにも「日本再興戦略2015」に基づき、今後進めていくべき方向性について解説されました。また、地域間格差が否めないことや、2020年代に向けた教育の情報化に関する懇談会を設置したことなど、これからの時代に求められる力の育成のために取り組んでいる内容についても説明が行われました。さらに、これから新学習指導要領においても重視される「アクティブラーニング」・「情報活用能力の育成」においても、ICTを積極的に活用していくこと、学校の先生がたが使いやすい環境を構築することで業務負担の軽減を図ること、業務改善の効果の高い校務支援システムの構築等の必要性についても述べられました。



## ■ 協議会趣旨説明 多久市長 横尾俊彦

これからのICT教育では、子供たちに必要な環境を充実していくことが大切だと述べ、本協議会の設立の目的について説明をおこないました。特に、つくば市全国首長サミットで採択された宣言の5つの内容を踏まえ、今後、それぞれの自治体での首長と教育行政とが連携を強化していくことの必要性を述べ、支援体制を期待したいと語りました。また、文部科学省によるさらなるICT教育の推進、産学官での共有、自治体と民間での情報共有、地域社会が一体となることといった、これから進んでいくべき方向性も示されました。



## ■ 小学生による英語でのプレゼンテーション つくば市立春日学園義務教育学校4年生

春日学園義務教育学校についての紹介を、4年生5人、7年生2人が全て英語で行いました。ICTを使った授業の様子、1年生から9年生までが異学年で協働により学ぶ姿、校外学習でICTを活用する様子、校内で行っているプレゼンテーションコンテストなどを紹介しました。また、電子黒板を用いて、実際の授業風景を写真を交えて紹介したり、思考スキルを使って学習をしている様子を紹介したりしました。これらの学習の成果をプレゼンテーションを行う姿からは、ICT活用と英語のスキルを身に付けていることもうかがわれるような発表内容で、会場の参加者は、子供たちのICT活用力と英語力に大変感心していました。



<お問合せ先>

「全国ICT教育首長協議会」事務局（一般財団法人日本視聴覚教育協会内）

TEL：03-3431-2186/FAX：03-3431-2192

## 「全国ICT教育首長協議会」設立発表会 概要

### ■名称

「全国ICT教育首長協議会」設立発表会

### ■日時

2016年8月3日（水）10時30分～11時45分

### ■会場

秋葉原コンベンションホール  
(東京都千代田区外神田1丁目18-13秋葉原ダイビル)

### ■発起人

福島県郡山市長	品川 萬里（教育長代理出席）
茨城県つくば市長	市原 健一
東京都荒川区長	西川 太一郎（教育長代理出席）
長野県下伊那郡喬木村長	市瀬 直史
滋賀県草津市長	橋川 涉
大阪府箕面市長	倉田 哲郎
奈良県葛城市長	山下 和弥
佐賀県多久市長	横尾 俊彦
佐賀県武雄市長	小松 政（校務のため欠席）
熊本県球磨郡山江村長	内山 慶治

### ■次第

- ・発起人代表あいさつ つくば市長 市原 健一
- ・来賓あいさつ 文部科学大臣政務官 堂故 茂 様
- ・発起人あいさつ
- ・2020年代に向けた教育の情報化の取組について  
文部科学省生涯学習政策局情報教育課長 磯 寿生 様
- ・協議会活動方針 多久市長 横尾 俊彦
- ・小中学生による英語でのプレゼンテーション
- ・発起人及び賛同者等 記念撮影

### ■来賓

文部科学大臣政務官	堂故 茂 様
文部科学省生涯学習政策局長	有松 育子 様
文部科学省生涯学習政策局 生涯学習総括官	下間 康行 様
東京工業大学学長相談役・名誉教授	清水 康敬 様
信州大学教授	東原 義訓 様



<お問合せ先>

「全国ICT教育首長協議会」事務局（一般財団法人日本視聴覚教育協会内）

TEL：03-3431-2186/FAX：03-3431-2192